

SDGs新聞

太陽生命保険株式会社

森林と生きる、未来を育てる

SDGsラジオを読みましょう！

もし森林がなくなったらどうなるか、考えたことはありますか？

木々がなくなってしまうと、生き物たちのすみかがなくなったり、土砂崩れなどの災害の原因になったり、地球温暖化が進んだり、悪いことがたくさん起きてしまうんです。

そこで生命保険会社の「太陽生命」は「太陽生命の森林(もり)」をつくり、森林を守る活動をしています。

日本に3か所ある「太陽生命の森林(もり)」では、社員が木を植えたり、手入れをしたりしながら、広々とした美しい緑の森林を育てています。

森林が元気になればたくさんの生き物のすみかが守られ、そこでくらす人びとの安心安全な日々が支えられ、そして、地球の未来そのものを守っていくことにつながっていきます。

森林を守ることは、未来を守ること。まずはみなさんも、身近にある自然を大切にするために何ができるか考えてみませんか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：太陽生命の森林(もり)



画像参照：太陽生命くつきの森林(もり)にすむアカハライモリ

森林がなくなると、地球にはどんな影響があるのでしょうか。森林の木々は、雨を受け止めて土砂くずれを防いでくれたり、たくさんの生き物のすみかになっていたり、二酸化炭素を吸って地球温暖化の進行をおさえたりと、さまざまな働きをしています。そんな大切な森林が、人間の便利な生活のためにこわされたり、地球温暖化による火事などで減っていることが、いま、地球の問題になっています。

そこで、生命保険会社の「太陽生命」では、栃木県と滋賀県と山形県にある森林の一部をかりて、「太陽生命の森林(もり)」をつくり、社員がボランティアとして森林を守る活動をおこなっています。太陽の光が入って森林が元気になるように木を切ったり、森林で人が通るための道を整えたり、森林がある地域の小学生といっしょにどんぐりから苗木を育てたりと、さまざまな工夫で、明るく、親しみやすい森林づくりをしています。

森林や海などの自然には、たくさんの動物や植物がくらしています。生き物たちはつながり合いながら生きていて、ある動植物がいなくなると、他の生き物の暮らしにも影響を与えることがあります。このように、生き物たちがお互いを大切にして生きていることを「生物多様性」といいます。この生物多様性を保ち、自然を守るために、世界では「2030年までに地球の陸と海の30%以上を自然のまま守ろう」という目標が立てられました。この目標を「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」といいます。太陽生命もこの目標に向け、「太陽生命の森林(もり)」を中心に活動しています。そして、この取り組みが評価され、滋賀県にある「太陽生命くつきの森林(もり)」は、国から生物多様性が守られている特別な場所「自然共生サイト」に選ばれました。地球上の生き物たちを守るためには、世界のみなで力を合わせる大切が大切です。

キーワード

地球温暖化

二酸化炭素などのガスが増えることで、地球の気温がだんだん上がる現象のことです。気温が上がって、山や森林が乾きやすくなることで、火事が起きることもあります。

生物多様性

動物や植物など、いろんな生き物がちがう形や性質を持ち、助け合ったり、バランスをとったりしながら地球でいっしょに生きていることです。

自然共生サイト

会社や人びとの取り組みで生物多様性が守られていると、環境省が認める特別な場所のことです。30by30の目標を達成するためにつくられた制度です。

対象ゴール



みなさんにできること！

身近な自然を守るために できることを考えてみましょう。

おさらい

- 太陽生命は「太陽生命の森林(もり)」をつくって、森林を守る活動をしている。
- 生き物たちのすみかを守るために、世界で「30by30」という目標が立てられた。
- 「太陽生命くつきの森林(もり)」は、国から「自然共生サイト」に選ばれた。

メモ

